

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 赤坂 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

質問紙の結果から、多くの児童が「運動やスポーツが好き」「自分にとって運動やスポーツは大切なもの」とらえていることが分かった。2020年に日本で行われるオリンピックに関する質問に対して「試合を見に行ってみよう」「大会ボランティアしてみよう」と回答している児童の割合が高いことから、児童の運動への関心が高まっていることが伺える。生活習慣の課題として、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどを長時間視聴する児童の割合が高いことや、朝食を毎日食べるという割合が少し低いことがあげられるため、よりよい生活習慣の確立へ向け、家庭との連携を図りながら取組を進めていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

今年度、体育科授業において、ジャンプアップ運動や話し合い・振り返りの活動を積極的に取り入れたことが、体力向上につながったと推察されるため、今後も全学年で重点的に取り組んでいく。調査結果から、課題が明らかになった種目については準備運動に位置づけていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

スポーツタイムとして、1学期はなわとび、2学期は竹馬・一輪車、3学期はジョギングに取り組んだ。縦割り学年で活動していることもあり、多くの児童が楽しみながら活動し、外遊びの習慣が身についてきた。今年度、「20mシャトルラン」の記録が、男女ともに大幅に伸びたこともスポーツタイムの成果の表れと考えられる。今後、学校通信、HPを通して取組の様子を伝えるとともに、家庭における運動習慣の確立へ向けた啓発に努めていく。